



Insure
OUR FUTURE



気候変動を悪化させる

ブラジルのオフショア石油拡張の背後にいる保険会社
(日本語版)

2022年1月

概要

保険会社が石油・ガス採掘事業を支援することは、気候危機に深刻な影響をもたらすだろう。本報告書では、これまで公開されていなかった内部資料を用いて、脆弱な生態系のあるブラジル沖の石油・ガスの深海採掘操業とその拡張事業に対して保険を引き受けている保険会社の実態を明らかにしている。引受先事業への関与と情報開示の要請に対して保険会社が極めて秘密主義であることを考慮すると、このような情報が公表されることは貴重である。

チャブ（アメリカ）、MAPFRE（スペイン）、東京海上（日本）の保険会社3社は、ブラジルにおける近年のオフショア石油・ガス採掘事業と保険の大半を引き受けている。3社はブラジルの国営石油会社であるペトロbrasの主要契約先の保険会社として¹、世界で最も脆弱な生態系からなるグレートアマゾンリーフやブラジルの沿岸地域での探査と商業掘削に対する保険を引き受けており、世界の気候の安定化、現地の生態系と人々の生活を危機に晒している。ペトロbrasは、ブラジルの全石油およびガスの93%を抽出しており、2021年9月時点で1日に約280万バレルもの石油を抽出している²。

また、チャブと東京海上は、Liberty Mutual、アクサ、Fairfax、Argo、そしてブラジルの複数の保険会社とともに、石油・ガスの探査事業に関与している複数の企業に対してパフォーマンスボンドを発行する形で保険サービスを提供していることがわかった。

気候リスク評価を恒常的に行っている保険会社が、化石燃料採掘の拡張を支援していることは矛盾に満ちており、無責任である。チャブのCEOであるイヴァン・グリーンバーグ氏は2006年という比較的早い時期に「地球温暖化よりも大きな問題に人類は直面したことがない」と発言し³、チャブが「地球の資産管理人」としての役割を果たすと述べている⁴。東京海上は気候変動を「我々が正面から取り組まなければならない最優先事項」と表明している⁵。

アクサは2021年末に新規石油探査事業の保険引受を除外する方針を採択したが、「信頼できる移行計画」を掲げる石油会社に対しては例外措置を設ける旨を述べている。企業が信頼性のある計画を掲げているかどうかは2022年末に決定され、もし計画に信頼性がない場合は、12ヶ月の猶予期間の後に引き受けを停止するとのことである。Phoenix Óleo & Gásは2023年末までにブラジルにおける石油・ガス埋蔵量の探査について、アクサから引受を受けることを期待しているが、アクサがどのような判断を行うかが注目される。

¹ Tokio Marine (40%) and Chubb (60%) cover Petrobras' general civil liability; Chubb (50%), MAPFRE (40%), and Tokio Marine (10%) cover transport; Gard and Skuld cover marine protection and indemnity; and the Brazilian company Austral Seguradora covers production and exploration related risks to goods and equipment. The multi-year commitments of these three international insurers to support Petrobras' oil and gas extraction, and that of Austral, is also confirmed in an online posting from October 2019 by Brazil's National Federation of Private Insurance and Reinsurance Brokers, Capitalization, Private Pension, Insurance and Reinsurance Brokerage Companies. See: "[Petrobras contrata seguro de US\\$ 170 bilhões](#)." Tokio Marine and MAPFRE also visibly offer their oil and gas insurance on their companies' Brazilian websites. See for example: [SEGURO RISCOS DE PETRÓLEO](#), Tokio Marine, accessed 26 November 2021; and [Cobertura Básica Restrita Nº 13 – PARA TRANSPORTE DE ÓLEO \(PETRÓLEO\) A GRANEL \(EMBARQUES AQUAVIÁRIOS E TERRESTRES\)](#), MAPFRE, accessed 26 November 2021

² [Boletim da Produção de Petróleo e Gás Natural](#), The Brazilian National Agency of Petroleum, Natural Gas, and Biofuel (ANP), 31 October 2021

³ [Ace Limited Annual Report 2006](#), ACE Limited

⁴ [Citing Climate Change, Chubb Will Limit Insuring, Investing in Coal Plants](#), Insurance Journal, 1 July 2019

⁵ [Tokio Marine: Our Climate Strategy](#), Tokio Marine, accessed 19 November 2021

もし保険会社が気候の大惨事を本気で避けようとしているのならば、1.5度の経路において石油・ガスの供給を拡大する余地は残されていないという国際エネルギー機関（IEA）の警告を深刻に受け止めなければならない。今後30年間で石油の生産量を87%、ガスの生産量を74%減少させなければならない⁶。

ブラジルは、すでにラテンアメリカの中で原油の生産量が最も多い国だが、今後5年間でオフショアの石油事業を年々拡大する方向に向かっており、このような拡大傾向にある国は世界でも数少ない。IEAは、政策介入がされない限り、ブラジルは2020年と比較して2026年までに世界の石油生産拡大の12-24%を占めるとの予測を示している。ブラジルの生産量は1日に300万バレルから420万バレルになると予想されている⁷。

ブラジルのオフショア石油セクターの拡大は、気候危機を加速させるだけでなく、沿岸部のキロンボラ（アフリカ系ブラジル人の子孫）、先住民族、零細漁業者、海を生存の糧にしている都市の港湾コミュニティ、絶滅危惧種をも破壊してしまう⁸。ブラジルのオフショア石油採掘が行われている地帯には脆弱な生態系が存在し、世界で最も大きなサンゴ礁があり、絶滅危惧種のマナティ、イルカ、クジラ、ウミガメの住処であるグレートアマゾンリーフを含んでいる。

探査活動と生産活動はすでに環境と人々に深刻な影響を及ぼしている。2019年までに、ブラジル北東部の油流出は、海岸の3,000キロを超える広大な地域に広がった⁹。流出した油は海岸やマングローブを覆い、サンゴや魚、カメ、クジラ、鳥類の命を奪った。さらに、零細漁業と観光業に生計を頼っている地域経済を破壊した。今日までに、現地のコミュニティは自分たちの生活や周辺環境に害を及ぼした大惨事に対する賠償を何も得ていない。ブラジル当局は、油流出の原因を公に特定することも、企業に責任を負わせることもしていないのだ。

もしも保険会社が社会のリスク管理者として、化石燃料採掘への支援を拒否していたならば、石油・ガスの採掘は実施されることなく、油が流出することもなかっただろう。35の保険会社が石炭の引受を制限したことによって、引受範囲の縮小や、保険料の値上げが生じており、いくつかの事業では操業に必要な保険を契約するのに苦戦しているなど、著しい影響を及ぼしている。保険業界は、10の保険会社が市場の70%を支配しており、市場が非常に寡占化されているため、石油・ガス会社に対しても同じような影響を与えることができる¹⁰。保険会社が化石燃料事業を除外するビジネス事例が増えており、化石燃料事業で生じた損害に対して保険会社が支払わなければいけないリスクが高まっている¹¹。

しかし、ブラジルでの保険会社の行動が示すように、多くの保険会社は今だに世界中の石油・ガスの拡張を支援している。気候が完全に破壊されてしまうのを防ぐため、保険会社は石油・ガスの拡張への支援を直ちに中止し、1.5度の経路に沿うために既存の保険引受から撤退しなければならない。

⁶ [Oil 2021: Analysis and forecast to 2026](#), International Energy Agency (IEA)

⁷ [Oil 2021: Analysis and forecast to 2026](#), International Energy Agency (IEA)

⁸ Andrews, Nathan, et al., [Oil, fisheries and coastal communities: A review of impacts on the environment, livelihoods, space and governance](#), Energy Research & Social Science, Volume 75, May 2021

⁹ [O que se sabe até agora sobre o derramamento de óleo no Nordeste](#), WWF, 12 November 2019

¹⁰ HTF Market Intelligence Consulting Private Limited, Global Property Insurance in the Oil and Gas Sector Market, 2018

¹¹ [The 2021 Scorecard on Insurance, Fossil Fuels & Climate Change](#), Insure Our Future, November 2021

ブラジルにおけるオフショア掘削拡張の世界への影響

IEAのOil 2021によると、ブラジルは今後5年間で世界の石油市場における主要供給国になると予測されている¹²。2021年4月の時点で、ブラジルの石油採掘の規模はすでに1日あたり約300万バレルだが¹³、2026年には1日あたり420万バレルに到達し¹⁴、地球の許容量を超える増加になるだろう。

国連環境計画（UNEP）の2020 Production Gap Reportによると、今後10年間でブラジルは石油生産を最大70%拡大する予定であり、気候変動対策で遅れている国ランキングにおいて、ブラジルはアルゼンチンに次ぐ2位になると言われている¹⁵。

ブラジルは、2030年までにオフショア原油輸出国ランキングでトップ5に入ることを目指しており¹⁶、オフショア石油の供給量が今後5年間増加する傾向にある世界で数少ない国の一つであるが¹⁷、石油・ガス採掘の拡張を廃止しなければならないという科学的コンセンサスに逆行している。チャブ、MAPFRE、東京海上の保険会社3社と保険契約を結んでいるブラジルの国営石油会社ペトロブラスは、世界の石油・ガス業界の中で5番目に大きな石油・ガスの拡張事業を計画しており¹⁸、2024年までに330万バレルを採掘すると予想されている¹⁹。

今後5年間に開始予定の新規原油採掘事業は、主に「プレソルト」堆積物の採掘によるものであり、ブラジルにある120億バレルの実証済み石油埋蔵量（及び3,370億m³のガス埋蔵量）の大半に値する²⁰。「プレソルト」地帯は海面約6000メートル下のところにあり²¹、サントス盆地とカンポス盆地だけでなく、脆弱な海洋生態系があるグレートアマゾンリーフの周辺の地域をも含む。（以下の地図を参照）

¹² [Oil 2021: Analysis and forecast to 2026](#), International Energy Agency (IEA)

¹³ [The E&P sector in Brazil](#), The Brazilian National Agency of Petroleum, Natural Gas, and Biofuel (ANP), Presentation by Director-General Rodolfo Saboia, 22 June 2021

¹⁴ [Oil 2021: Analysis and forecast to 2026](#), International Energy Agency (IEA)

¹⁵ [The Production Gap Report: 2020 Special Report](#), SEI, IISD, ODI, E3G, and UNEP

¹⁶ [The E&P sector in Brazil](#), The Brazilian National Agency of Petroleum, Natural Gas, and Biofuel (ANP), Presentation by Director-General Rodolfo Saboia, 22 June 2021

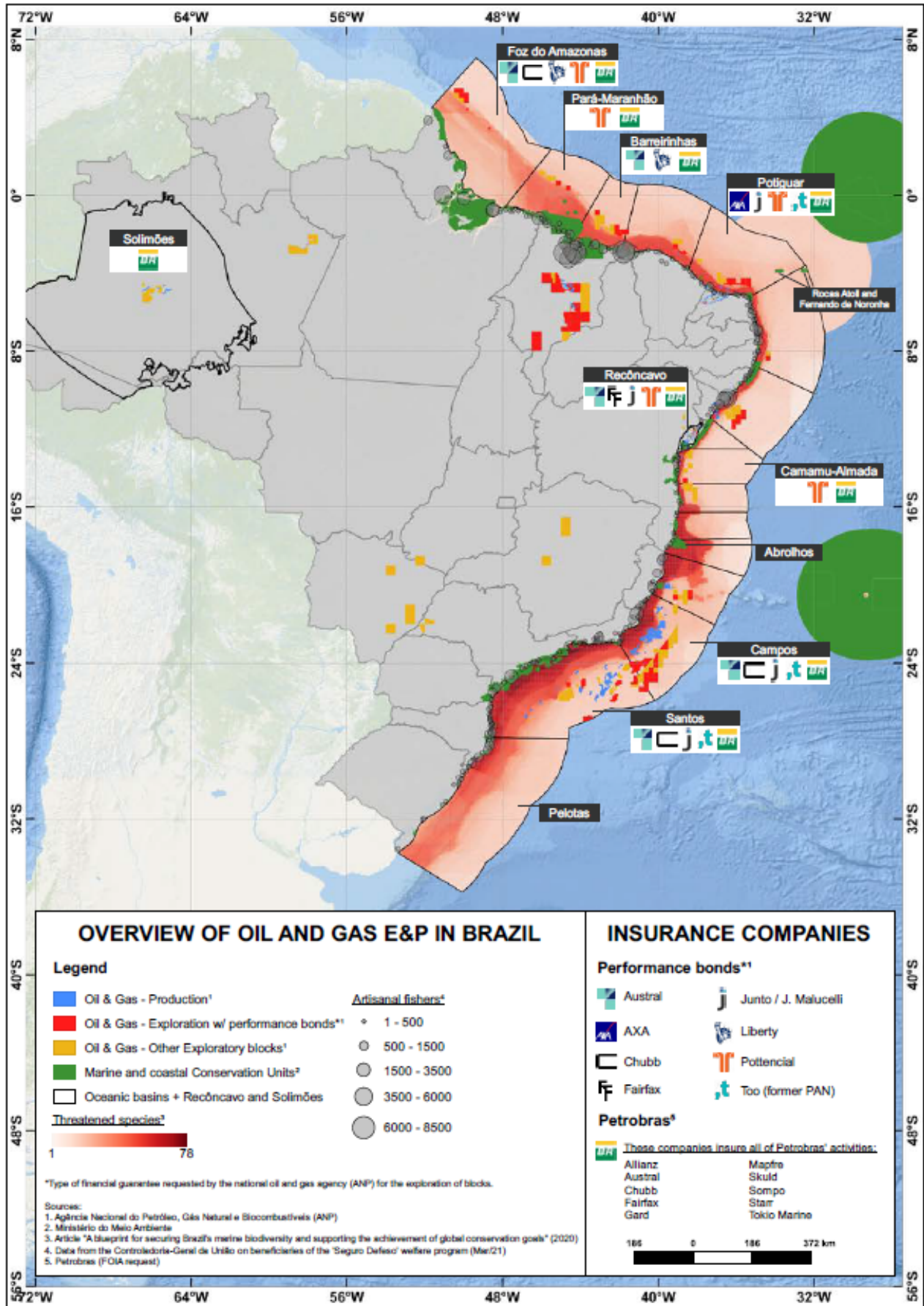
¹⁷ [Oil 2021: Analysis and forecast to 2026](#), International Energy Agency (IEA)

¹⁸ [Global Oil & Gas Exit List](#), Urgewald

¹⁹ [Oil 2021: Analysis and forecast to 2026](#), International Energy Agency (IEA)

²⁰ [The E&P sector in Brazil](#), The Brazilian National Agency of Petroleum, Natural Gas, and Biofuel (ANP), Presentation by Director-General Rodolfo Saboia, 22 June 2021

²¹ [Brazilian Pre-Salt Oil](#), Global Energy Monitor, 2021; Husseini, Talal, [Tracing the history of exploration in the Brazilian pre-salt oil region](#), Offshore Technology, 4 October 2018



ブラジル国立石油・天然ガス・バイオ燃料機関（ANP）は、超深海での石油採掘には「低炭素フットプリント」で「素晴らしい地質学的可能性」があると主張している²²。しかし、非常に危険な深海での石油・ガス採掘活動は、都市部からは遠い場所で行われており、大量の資源消費を招いて温室効果ガスのフットプリントを増加させてしまうという厄介な問題が存在する²³。さらに、深海での石油・ガス採掘は、地域社会や脆弱な生態系に深刻な影響を与える陸上のインフラを必要とし²⁴、求められているエネルギー転換とは正反対の経路に進ませることとなる。

ブラジルにおけるオフショア石油・ガス採掘の拡張計画は、現在のブラジル政府に存在する広範な気候変動否定論と、深海からアマゾン熱帯雨林の内陸部における冷酷な経済重視の文脈で起きている。2021年に森林破壊は22%急増し、2006年以来の最高レベルに到達した²⁵。

ブラジルにおける環境・社会影響

ブラジルのオフショア石油セクターの拡張は、気候だけでなく、沿岸部の地域で生活しているコミュニティや絶滅の危機に瀕している生物にも壊滅的な影響を及ぼす。

ブラジルのオフショア石油採掘が行われている地域は、世界最大のサンゴ礁、マングローブの汽水域、藻場、海岸砂丘の近くに位置する。そこは絶滅危惧種であるマナティ、イルカ、クジラ、ウミガメの生息地であり、絶滅の危機にある鳥、エビ、魚の繁殖地である²⁶。

重要なことは、計画中の新規拡張エリアが世界最大のサンゴ礁の生態系が存在するグレートアマゾンリーフとその周辺に位置しており、アマゾン川の河口からカリブ海まで1,000キロ以上にわたる場所にあることだ²⁷。深海における石油・ガス採掘事業に関する環境リスクはいくつか存在する。石油の流出は生態系に修復不可能な影響を与え、さらに掘削過程からだけでなく、有害物質の廃棄、貯蔵、輸送の過程からも流出

²² [The E&P sector in Brazil](#), The Brazilian National Agency of Petroleum, Natural Gas, and Biofuel (ANP), Presentation by Director-General Rodolfo Saboia, 22 June 2021

²³ Mein, T.F.; Gimenes, A.L.V.; Dias, E.M.; Rebello Pinho Dias Scoton, M.L.; Udaeta, M.E.M. [Environmental Vulnerability in Pre-Salt Oil and Gas Operations](#), Energies, Volume 14, 30 January 2021; [Brazilian Pre-Salt Oil](#), Global Energy Monitor, 2021; Watts, Jonathan, [Brazil's troubled waters](#), The Guardian, 25 June 2015

²⁴ See for example, the explanation of community concerns outlined by local social movements: [DIGA NÃO À 17ª RODADA DA ANP: BASTA DE EXPLORAÇÃO PETROLEIRA. LUGAR DE PETRÓLEO É NO SUBSOLO!](#), CAMPANHA ANTIPETROLEIRA "NEM UM POÇO A MAIS!", October 2021

²⁵ Spring, Jake and Boadle, Anthony, [Brazil's Amazon deforestation surges to 15-year high, undercutting government pledge](#), Reuters, 18 November 2021

²⁶ Miloslavich, Patricia et al., [Marine Biodiversity in the Atlantic and Pacific Coasts of South America: Knowledge and Gaps](#), Plos, 31 January 2011; Magris, Rafael A. et al., [A blueprint for securing Brazil's marine biodiversity and supporting the achievement of global conservation goals](#), Diversity and Distributions, Volume 27, 01 November 2020; Phillips, Dom, [Oil spill threatens vast areas of mangroves and coral reefs in Brazil](#), 7 November 2019; Andreoni, Manuela, [Oil exploration threatens Brazil's Abrolhos marine park](#), Dialogo Chino, 24 June 2019; [Amazon reef is huge — and under threat from Total oil drilling](#), DW, 18 April 2018; Lammey, Mark, [Total strikes deal to transfer Brazil basin blocks to Petrobras](#), Energy Voice, 28 September 2020

²⁷ Though oil and gas extraction is currently concentrated in areas surrounding the Amazonas region, particularly in the Santos and Campos Basins, the zones closest to the Amazon Basin are seen as a new frontier for the sector. Fick, Jeff, [Petrobras to drill in Foz do Amazonas, eyeing Guyana and Suriname successes](#), 06 August 2021; Moura, Rodrigo L. et al., [An extensive reef system at the Amazon River mouth](#), Science Advances, 22 April 2016

が生じる可能性がある²⁸。深海の地震探査活動は、海洋哺乳類、魚類、および脆弱な生態系に壊滅的な影響を与え、騒音だけでも多くの海洋種の移動や交配が妨げられる²⁹。

オフショア石油採掘会社はブラジルの大西洋岸沿いに集中しており、漁業団体、キロンボラ、先住民族、そして海岸都市部の貧困層に直ちに影響を及ぼす。キロンボラの人々は、アフリカ系ブラジル人の子孫であるが、彼らの土地権は長年認められておらず、土地の多くは今だに法的に認められていない³⁰。さらに、現在キロンボラの人々は、石油採掘による破壊から生活のための糧を守るために立ち上がらなければならなくなった。現地の市民団体は2021年10月、COP26に先立ち、新規石油・ガス採掘のブロック入札プロセスの募集と同時期に、土地、空気、水を汚染し、健康で安全な労働と生活環境を得る権利を侵害されたとして石油採掘業界を告発した。現地の市民団体は、石油会社の影響を受けた沿岸地域（“zonas de sacrificio”）において組織的な抗議運動を行った³¹。

石油・ガス採掘基地によって、現地のコミュニティは、港と造船所、関連する輸送や貯蔵のインフラ、沿岸地域の浚渫、振動を伴う採掘と発破、深刻な流出や漏出といった、被害を長年に渡って受けてきた³²。彼らはこの押し付けられた被害に対抗するため、何十年にも渡る長期の抗議運動を行っている³³。ブラジルで計画中のオフショア採掘事業によって、状況は計り知れないほど悪化し、漁業を営む人々の家計や、先祖代々の土地や財産が危険に晒されることになる。更なる壊滅的な流出事故が起きる可能性も高まる³⁴。このような状況は、海岸の侵食や海面上昇、異常気象を含む、気候危機の影響を受けて悪化する。そしてこれらはすべて、事業を支援する保険会社によって実現するのだ。

²⁸ [Oil Spill Pollution Causes](#), Environmental Pollution Centers Website, accessed 23 November 2021

²⁹ Mein, T.F.; Gimenes, A.L.V.; Dias, E.M.; Rebello Pinho Dias Scoton, M.L.; Udaeta, M.E.M. [Environmental Vulnerability in Pre-Salt Oil and Gas Operations](#), *Energies*, Volume 14, 30 January 2021; Robbins, Jim, [Oceans Are Getting Louder, Posing Potential Threats to Marine Life](#), NYT, 22 January 2019

³⁰ Farfán-Santos, Elizabeth, "[Chapter Four. Black Rights: Documentation, Proof, and Authenticity](#)", *Black Bodies, Black Rights: The Politics of Quilombolismo in Contemporary Brazil*; Gross, Anne Sophie, [INSIDE THE LAND RIGHTS STRUGGLE FOR THE DESCENDANTS OF RUNAWAY SLAVES IN BRAZIL](#), *Pacific Standard*, 29 October 2018; For an up to date review of the situation and current context facing Quilombola Peoples across Brazil, an online platform has been set up: [Quilombo Observatory](#)

³¹ [DIGA NÃO À 17ª RODADA DA ANP: BASTA DE EXPLORAÇÃO PETROLEIRA. LUGAR DE PETRÓLEO É NO SUBSOLO!](#), CAMPANHA ANTIPETROLEIRA "NEM UM POÇO A MAIS!" October 2021

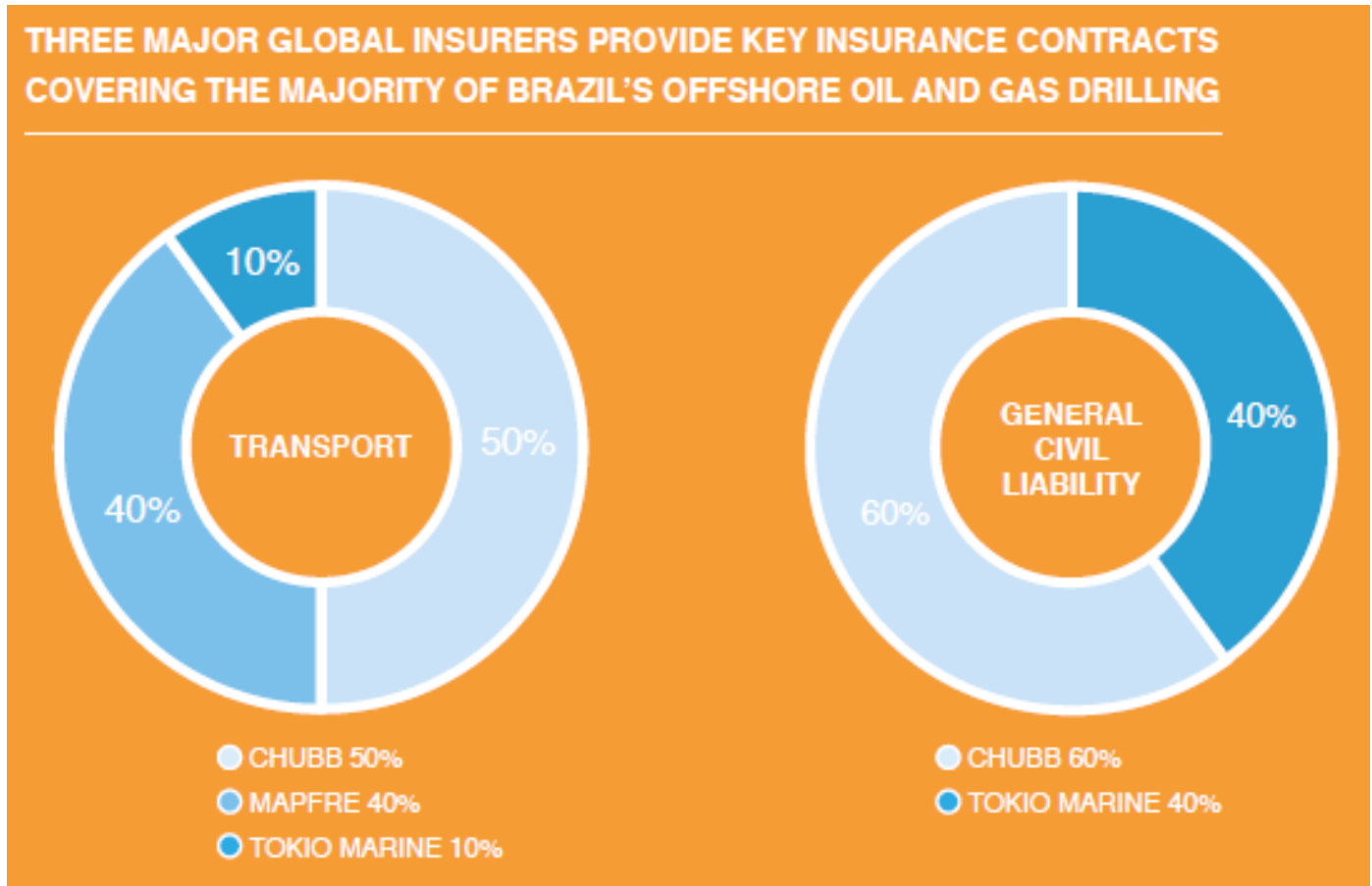
³² Uchôa, Victor, ['Ninguém quer o que pescamos': o drama dos pescadores com o petróleo no litoral da Bahia](#), BBC, 23 October 2019; Gasallak Maria Al., [The loss of fishing territories in coastal areas: the case of seabob-shrimp small-scale fisheries in São Paulo, Brazil](#), *Maritime Studies*, Volume 15, 2016

³³ See for example, explanations provided by the [Nem Um POCO a Mais](#) movement in their quarterly news bulletins in [May](#) and [November](#) 2021

³⁴ Cordes, Erik E. et al., [Environmental Impacts of the Deep-Water Oil and Gas Industry: A Review to Guide Management Strategies](#), *Front Environ. Sci*, 16 September 2016; [Oil spills](#), National Oceanic and Atmospheric Administration Website, accessed 23 November 2021; Mein, T.F.; Gimenes, A.L.V.; Dias, E.M.; Rebello Pinho Dias Scoton, M.L.; Udaeta, M.E.M. [Environmental Vulnerability in Pre-Salt Oil and Gas Operations](#), *Energies*, Volume 14, 30 January 2021

誰がブラジルのオフショア採掘に保険を提供しているのか？

本報告書は、これまで公開されていなかった資料を用いて、世界の大手保険会社3社、チャブ、MAPFRE、東京海上が、ブラジルのオフショア石油・ガス採掘事業の保険の大半を引き受けている実態を明らかにしている。3社の支援により、ブラジルの国営石油会社ペトロブラスは、グレートアマゾンリーフ周辺およびブラジル沿岸部の脆弱な生態系が存在する地域での探査と商業掘削が可能となる。



ペトロブラスの一般的な民事責任の保険を東京海上（40%を引受）とチャブ（60%を引受）が引き受け、輸送についての保険をチャブ（50%を引受）、MAPFRE（40%を引受）、東京海上（10%を引受）が引き受けている。Gard P&I Ltd.とSkuld UK P&Iは共同して海洋保護および損害補償についての保険を引き受けている。さらに、ブラジル企業のAustral Seguradoraは商品や設備について生産・探査事業のリスクに関する保険を100%引き受けている。

ペトロブラスはブラジルの国営石油・ガス会社として、ブラジルの石油・ガスの約93%を生産しており³⁵、気候変動を含む環境破壊や社会面での関連被害の大半に責任がある。

保険会社は、グレートアマゾンリーフの広大な地域や、海で生計を立てる地元の漁業者が住んでいるフォーストアマゾナス盆地を含む非常に脆弱な沿岸地域におけるペトロブラスの探査事業の保険を引き受けてい

³⁵ [Boletim da Produção de Petróleo e Gás Natural](#), The Brazilian National Agency of Petroleum, Natural Gas, and Biofuel (ANP)

る。現在、フォスドアマゾナス盆地は手つかずの状態にある。市民団体や科学者からの懸念の声によって³⁶、ブラジルの環境規制機関から同地域の掘削許可が下りず、British Petroleum (BP) とTotalは、フォスドアマゾナス盆地での権益をペトロbrasに譲渡している³⁷。これは石油・ガス採掘が行われているアマゾン盆地の広大な地域が、現在ペトロbras、ひいては保険会社の手の中にあるということである。

上述した通り、ペトロbrasがブラジル沿岸部で採掘を行っている地域における地域社会と海洋生物への影響は、事業が拡張されると悪化する。計画中の超深海での拡張事業は、更なる石油流出事故や石油タンカーからの慢性的な汚染のリスク、現地の人々の生活を脅かすような大規模な土砂流入によるリスクをもたらす³⁸。ペトロbrasは、2019年ブラジル北東部で大規模な流出が起きた地域のような深刻な影響を受けた地域での拡張も計画している³⁹。

情報公開請求により、ブラジル沿岸部でのオフショア石油・ガス採掘の探査事業に関与している多国籍企業に対してパフォーマンスボンドを提供している保険会社の実態がわかる未公開記録の内容も明らかになった。石油・ガス会社は探査活動を行う際に、必要最小限の探査を行う水準の金銭保証をブラジル政府に提示することが求められる。この方法のひとつが、保険会社が発行するパフォーマンスボンド⁴⁰である。

チャブと東京海上は、Liberty Mutual、アクサ、Fairfax、Argo、さらにブラジルの複数の保険会社とともに、同様の保証を提供していることがわかった。採掘事業の地域と繋がりのあるブラジル以外の保険会社と石油会社には以下が含まれる。ペトロbrasとチャブ、東京海上、MAPFREの保険会社3社は、これら全域において活動していることは注目すべき点である。

- **フォスドアマゾナス**：Liberty Mutual とチャブはBP Energyにパフォーマンスボンドを発行している。フォスドアマゾナスは、グレートアマゾンリーフにおいて、今まで石油採掘事業が行われていない広大な地域のひとつである。
- **ポティギユアル**：アクサはPhoenix Óleo & Gásの保険を引き受けている。ポティギユアルはアマゾンリーフに隣接しており、ブラジルで最初に設立された国立海洋保護地域であるフェルデナンドデノローニャマリン国立公園とロカス環礁を含む複数の海洋保護地域と重なっており、地球上で最も大きなクジラの種であるシロナガスクジラの生息地である。
- **カンポス**：チャブはBP Energyにパフォーマンスボンドを発行している。カンポスは、ネズミイルカ、シロナガスクジラ、オサガメ、ホホジロザメを含む70の絶滅危惧種の生息地であり⁴¹、2026年までにブラジルにおける石油産出の80%を占めると予測されている。
- **サントス**：チャブと Liberty MutualはBP Energyにパフォーマンスボンドを発行している。サントスは、国内の石油・ガス事業の大半を占める地域であるが（2021年半ばの時点で約70%）、複数の海

³⁶ [Petrobras assumes BP's stakes in six Foz do Amazonas blocks](#), S&P Global, 6 April 2021; Kulovic, Nermina, [Petrobras to take over BP's stakes in 6 blocks off Brazil](#), Offshore Energy, 6 April 2021.

³⁷ Kulovic, Nermina, [Petrobras to take over BP's stakes in 6 blocks off Brazil](#), Offshore Energy, 6 April 2021.

³⁸ Mein, T.F.; Gimenes, A.L.V.; Dias, E.M.; Rebello Pinho Dias Scoton, M.L.; Udaeta, M.E.M. [Environmental Vulnerability in Pre-Salt Oil and Gas Operations](#), Energies, Volume 14, 30 January 2021; [Oil exploration threatens Brazil's Abrolhos marine park](#), Dialogo Chino, 24 June 2019; [Amazon reef is huge — and under threat from Total oil drilling](#), DW, 18 April 2018; Lammey, Mark, [Total strikes deal to transfer Brazil basin blocks to Petrobras](#), Energy Voice, 28 September 2020; For recent news coverage about the severe risks of deep sea extraction, see for example: Watts, Jonathan, [Race to the bottom: the disastrous, blindfolded rush to mine the deep sea](#), The Guardian, 27 September 2021

³⁹ [O que se sabe até agora sobre o derramamento de óleo no Nordeste](#), WWF, 12 November 2019

⁴⁰ [Tender Protocol – Exploration Blocks - Award Of The Concession Agreements For Exploration And Production Of Oil And Gas. 17th Bidding Round](#), National Agency Of Petroleum, Natural Gas, And Biofuels (ANP), Section 9.1.2, “Financial guarantee of the minimum exploration program,” page 74, 27 July 2021

⁴¹ Information on Brazil’s endangered species in the different basins is published by the Ministry of the Environment’s Chico Mendes Institute for Biodiversity Conservation. “[Red Book](#)”, volumes and action plans updated as of 2018, accessed 30 November 2021

洋保護地域にまたがっており、絶滅危惧種やそのリスクがある種が存在しており、さらに石油・ガス会社が排出する有害廃棄物の影響を強く受ける沿岸部コミュニティが密集する地域である⁴²。

- **バハイリーニヤス**：Liberty MutualはBP Energyにパフォーマンスボンドを発行している。グレートアマゾンリーフの東端に位置するバレイリーニヤスは、主要な海流があるため⁴³石油事故が起きるとリーフの全生態系が汚染されるリスクがあるが、沿岸部の零細漁師の30%がこの流域またはその近くに住んでいる。

上記に述べた活発な保険会社に加えて、国際的な保険会社である、AIG、アリアンツ、ジェネラル、三井住友海上火災（MS&ADグループ）、SOMPO、スター、スイス再保険、XL（アクサの子会社）、チューリッヒがブラジル財務省の民間保険管理簿に登録されており、保険会社の経営陣が決定を下した場合、探査および進行中の事業の保険を引き受けることになっている。

残念ながら、最近の規制変更により、ブラジルのオフショア探掘事業の引受を行っている保険会社の情報を今後入手することはさらに難しくなるだろう。（囲みを参照）

囲み：秘密の幕～保険会社はどのようにして事業計画の情報を隠しているのか～

保険業界の性質は秘密主義的であり、誰が石油・ガス探掘事業に対する保険の大半を引き受けているかといった情報は滅多に入手できない。このように透明性が欠如しているため、保険会社に対して気候危機における会社の責任を追求することが困難な状況である。

本レポートの調査結果は、情報公開請求を通じて入手された。しかし、規制変更が行われたため、この情報が利用できるのはこれで最後かもしれない。

ブラジルで事業を行う石油・ガス会社は、他国と同様に、事業や運営上の保険を引き受けている保険会社名を政府に開示することを要求されておらず⁴⁴、保険会社は契約先を開示する義務がない。2021年4月の規制変更により、石油・ガスセクターを含む広範なリスクに対して保険を引き受けている保険会社は、契約記録を経済省の民間保険監督（SUSEP）に提出する必要がなくなった。この変更により、今後この情報が政府に提出されることはなく、そのため情報公開請求によって入手することができなくなった⁴⁵。

保険契約に関する情報がないので、株主は保険会社が問題となっている事業にどの程度関与しているかを知ることができない。一方で、関心のある市民は、リスクのある事業を行う会社がどのように保険を契約しているかわからないので、保険会社に責任を追求することができない。

⁴² [Environmental Vulnerability in Pre-Salt Oil and Gas Operations](#), Energies, Volume 14, 30 January 2021

⁴³ Prevailing currents along the coastline are those of the South Equatorial/Guiana, flowing northwest. [Climate and Maritime Currents](#), Brazilian Institute for Geography and Statistics, accessed 29 November 2021. Specific modelling of the risks of an oil spill in the Barreirinhas Basin, including mapping of its potential spread in the areas surrounding the reef, are provided for example in the [Environmental Impact Statement](#) submitted to the Brazilian government by BG E&P (Royal Dutch Shell) for several exploratory blocks submitted as early as 2015 (accessed 30 November 2021), and in a [similar impact assessment conducted for BP](#) also for one exploratory block in Barreirinhas in 2016 (accessed 30 November 2021).

⁴⁴ This regulation came into effect in 2001, during one of the first rounds of open bidding for oil and gas reserves initiated by Brazilian authorities.

⁴⁵ [RESOLUÇÃO CNSP Nº 407, DE 29 DE MARÇO DE 2021](#), Brazilian government

保険会社は石油・ガス採掘への対応が不十分である

保険会社は社会のリスク管理者として、パリ協定を遵守し、気候危機の回避を行う責任がある。そして、事業活動のすべてを1.5度目標に整合的なものにし、世界経済を脱炭素に移行させる重要な役割がある。ほとんどの化石燃料の拡張事業は、保険なしで資金調達、建設、運営することができない。

2017年のInsure Our Futureキャンペーンの設立以降、少なくとも35の保険会社が石炭事業の保険引き受けを停止、あるいは保険引き受けを制限し、そのシェアは世界の再保険市場の半分以上に相当する。保険業界における石炭からの撤退は目に見える影響を及ぼしており、化石燃料からの資本逃避の一部となっている。石炭事業者は保険料の値上げに直面し、石炭事業者は保険を契約するのに苦戦している。

保険会社は、市場が寡占化している石油・ガス業界に対して同様な影響を及ぼすことができる。たった10%の保険会社が世界の70%の石油・ガス会社の保険を引き受けており、アメリカの保険会社は世界最大の市場シェアを誇っている⁴⁶。しかし、問題となっている石油・ガス会社について保険引受の制限を設けている保険会社は非常に少ない。アクサ、チューリッヒ、ジェネラル、KBC、サンコープのみが新規石油・ガス事業についての方針を掲げており、アクサとチューリッヒの方針については、石油・ガスの拡張事業の大半を排除していない⁴⁷。

アクサの新しい方針では、新規石油探査事業の保険引き受けを停止するものの、「信頼できる移行計画」がある石油会社については例外措置としている。Insure Our Futureキャンペーンからの質問に対する返答によれば、アクサは2022年末までに顧客が信頼できる移行計画を持っているか否かを決定し、12ヶ月の猶予期間を設けた後、保険引き受けを停止するとしている。Phoenix Óleo & Gásは2023年末までにブラジル沖の保護地域での新規石油・ガス埋蔵量の探査に対し、アクサから保険の引受を受けることを期待しているが、アクサがどのような判断を行うかが注目される。

保険業界がペトロブラスやブラジルでの大規模拡張計画に大々的に関与していることからわかるように、新規石油・ガスの保険引き受け停止に向けた保険会社の行動が不十分である。気候危機を考慮すると、世界の平均気温上昇を1.5度以上になることを防ぐため、保険会社は直ちにすべての石油・ガス拡張への支援を停止し、既存の保険引受を停止しなければならない⁴⁸。

ブラジルの探査や既存の事業に関与しているすべての国際的な保険会社は、気候危機を考慮していると主張しているが、ブラジルのような国での大規模な石油・ガス生産の拡張事業の保険を引き受けている彼らは、口だけで中身を伴っていないことを表している。保険会社の声明は偽善であることがわかった：

- **チャブ**：「チャブは気候変動の実態や地球上における人間活動のとてつもない影響力を認識している。低炭素経済への移行を実現するためには、政策立案者、企業、そして市民が計画し行動することが必要となる。私たちの今日における方針は、地球の資産管理人としての役割を果たすというチャブの公約を反映している。」—**チャブCEO Evan Greenberg**⁴⁹
- **Liberty Mutual**：「保険業界にいる身として、私たちは長期にわたって地球の気候危機の危険性を理解している。私たちは気候変動の直接的な影響や、異常気象がどれほど世界中の保険契約者に影響を及ぼしているかを把握している。」—**Liberty Mutual Chief Sustainability Officer Francis Hyatt, Liberty Mutual's 2020 Environmental, Social and Governance (ESG) Review (2021年発行)**⁵⁰

⁴⁶ [Time for the Insurance Industry to unfriend Oil and Gas](#), Insure Our Future, June 2020

⁴⁷ [The 2021 Scorecard on Insurance, Fossil Fuels & Climate Change](#), Insure Our Future, November 2021

⁴⁸ [Net Zero by 2050: A Roadmap for the Global Energy Sector](#), International Energy Agency (IEA)

⁴⁹ [Citing Climate Change, Chubb Will Limit Insuring, Investing in Coal Plants](#), Insurance Journal, 01 July 2019

⁵⁰ [2020 Environmental, Social and Governance Review](#), Liberty Mutual

- **アクサ**：「私たちの考え方は気候変動よりも速く発展しなければならず、今後のリスクの規模に沿った対応を行わなければならない。アクサは困難を引き受ける。（中略）ほとんどの2度未満のシナリオは電力の需要供給における早急で革新的な移行によるものである。供給の面において、シナリオは化石燃料、石炭や石油、そしてガスさえも排除することに基づいている。」—**AXA's 2021 Climate report: the decisive decade**⁵¹
- **ARGO**：「（メンバーの一員として）私たちは、低炭素や気候変動に強靱な経済への移行に貢献するためthe ClimateWise Principlesの遵守を努める。」—**Argoのウェブサイト**⁵²
- **Fairfax**：「我々は、私たち、そして続く世代が拠り所にする世界の環境を守ることに長期にわたって全力で取り組む。」—**Fairfax Environmental, Social and Governance (ESG) Report 2020**⁵³
- **東京海上**：「気候変動は真正面から取り組むべき最重要課題と位置付けています。」—**東京海上のウェブサイト**⁵⁴
- **MAPFRE**：「グループは2030年までにカーボンニュートラルを達成する。」—**MAPFREのウェブサイト**⁵⁵
- **Gard**：「気候変動は世界の議題の上位にとどまっているが、世界は発展を遅らせるほど速く進歩していないというのがコンセンサスである。」—**Gard Chief Executive Rolf Thore Roppestad**⁵⁶
- **Skuld**：「実際に私たちは気候変動や持続可能な開発を追求することが必要だということに気付いている。（中略）Skuldは気候変動に対抗する手段を、戦略、意思決定、投資慣行に統合させる。」
...**Skuld Sustainability Report 2020/2021**⁵⁷

⁵¹ [2021 Climate report: the decisive decade](#), AXA Group

⁵² [Climate Change Vulnerability](#), Argo Group, accessed 19 November 2021

⁵³ [Environmental, Social and Governance \(ESG\) Report 2020](#), Fairfax

⁵⁴ [Tokio Marine: Our Climate Strategy](#), Tokio Marine, accessed 19 November 2021

⁵⁵ [Climate Change](#), MAPFRE, accessed 29 November 2021

⁵⁶ [Insurers Have Role to Play in How Shipping Handles Climate Impact](#), Cambiaso Risso Group, 8 November 2021

⁵⁷ [Sustainability Report 2020/2021](#), Skuld

提言

本報告書は、保険会社がブラジルにおける環境破壊を招いている事業や拡張事業に関与している実態を明らかにした。チャブ、Liberty Mutual、MAPFREの保険会社3社は世界の石油・ガス保険会社トップ8に入っており、アクサ、Fairfax、東京海上はトップ15に入っている。**今や、全保険会社が自分たちの発言に沿った行動をとり、地球の許容量を超えるような石油・ガス拡張事業への支援を停止する時である。**

Insure Our Futureキャンペーンは保険会社に対して次の対応を求めている：

1. 石炭、石油、ガスの新規および拡張事業の保険引き受けを直ちに停止する。
2. EU/OECD諸国で2030年までに、世界全体で2040年までに全石炭関連資産の閉鎖を約束する出口戦略を表明していない企業への保険引き受けを直ちに停止する。
3. 1.5度の経路に整合するために石油・ガス会社の保険引き受けを段階的に停止する。
4. 1.5度の経路に整合していない石炭、石油、ガス会社を含むすべての投資先（運用委託資産を含む）から撤退する。石炭、石油、ガスの新規拡張事業を行っている企業は1.5度に適合していないとみなすこと。
5. 透明性のある方法で1.5度の経路に整合するために、スチュワードシップ活動、業界団体のメンバーシップ、および株主や企業市民としての立場を公表する。
6. 顧客が、先住民族の権利に関する国連宣言に明記されている「自由意志による、事前の、十分な情報に基づく同意（FPIC）」を含む、すべての人権を、十分に尊重し遵守していることを確保するための、強固なデューデリジェンスおよび検証メカニズムを確立する。

現在、Insure Our Futureキャンペーンは、**ブラジルでオフショア探掘が行われている件について、オフショア石油開発に抗議するべく、ブラジル全土にわたる沿岸部コミュニティと市民社会団体からなる「Nem Um Poço a Mais」**（新たな石油探掘はいらない）と協働している。**彼らの要求は次の通りである⁵⁸。**

1. 石油は地底あるいは海底に残しておかなければならない。
2. これ以上、油井または製油所が建設されてはならない。
3. 油流出や漏出によってすでに生じた損失や損害は賠償されなければならない。
4. 生活、健康、土地、水の権利は尊重されなければならない。

⁵⁸ [Not one more well](#), November 2021